

H7
6000K

SPHERE LIGHT

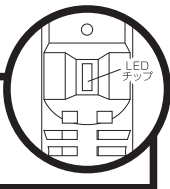
LEDヘッドライト

RIZING Pro
ライジングアルファプロ

取扱説明書

注意
事項

LEDチップに手を触れたり水気や油脂などの汚れを付着させると故障の原因となりますのでご注意ください。



はじめに

- 本製品は自動車専用です。自動車以外の用途で使用しないでください。
- 本製品はH7バルブ(12V)を使用したランプに装着することができますので、交換前に使用していたバルブの表示をご確認の上、間違いないようご注意ください。
- 本製品に交換した際、輸入車を含む一部車種では球切れ警告灯が点灯する場合があります。また、球切れなどを感知するためにスイッチを切った状態でも車輦側が微弱電流を流しており、かすかに点灯してしまう場合がありますが、製品の不良ではありませんので、予めご了承ください。(この場合の消費する電流は微弱であるため、バッテリーの早期上がりが発生することはありません。)
- LEDはハロゲンバルブと発光方法が異なるため、同じ色温度でも異なった色に見える場合があります。灯具によっても発光色が変わる場合があります。
- ヘッドランプとフォグランプで同じ色温度のバルブを装着しても異なった色に見える場合がありますが、製品の不良ではありませんので、予めご了承ください。
- 本製品は走行可能状態にしてから点灯させてください。アイドリングストップ機能を保有している車輦やバッテリーが弱っている車輦に使用した際、ロービームとハイビームを切替える際、エンジン始動時に一瞬不点灯やチラツキなどの症状が発生する場合があります。
- 経年劣化などでリフレクターやレンズ表面が損耗している灯具に本製品を使用した場合、製品本来の性能が充分発揮されず車検に通らない場合があります。その場合には元のバルブに交換してください。
- 本製品を点灯させた際、ラジオなどにノイズが入る場合がありますが、故障ではありませんのでご了承ください。ナビゲーションシステムやオーディオ機器のアースポイントを変更するなどで解消する場合があります。
- 光軸は走行時のショック、タイヤの空気圧や車体重量の変化によりずれる場合がありますが、製品の故障ではありませんので適宜光軸調整を行ってください。
- 保安基準などの自動車関連法に抵触しないようにご使用ください。
- 輸入車へ取り付けを行った場合、チラつき、明滅やメーターパネルへ球切れ警告灯が点灯する場合があります。その場合は別途、LED用球切れ警告灯キャンセラー(品番:SHGCLHP40)をご使用いただくことで解消する場合があります。また、適合表も併せてご確認ください。

車検について

本製品は保安基準第32条の項目を満たすことを確認しておりますが、下記の場合は車検が通らないことがあります。その際は元のバルブに交換するか、レンズの点検を行ってください。

- 測定器の備えがなく検査官の目視による判断を行っている場合。
- 経年劣化による灯具の損傷や、レンズの汚損がある場合。
- 新光源対応ステッカーを使用していない場合。

保安基準第32条の項目

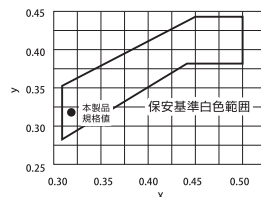
すれちがい用前照灯

- すれちがい用前照灯は、その照射光線が他の交通を妨げないもの、かつ、そのすべてを同時に照射したときに夜間にその前方40メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

走行用前照灯

- 走行用前照灯の照射光線は、自動車の進行方向を正射するものであること。
- 走行用前照灯は、そのすべてを同時に照射したときに、夜間にその前方100メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

保安基準に規定されている色度範囲
23年8月現在



※本製品の発光色はJIS規格5500-1995の白色範囲内に位置しています。

ヘッドライトテスター測定時の注意事項

H10年9月1日以降の製作車はロービームで測定および調整を行ってください。
H10年8月31日以前の製作車はハイビームで測定および調整を行ってください。
ヘッドライトテスターの仕様や設定により意図せず不適合となる場合があります。光度が低く測定される場合は、LEDやHIDのような新光源に対応していない場合があります。エルボ一点や光度が採れない場合は、目視検査モードでの測定を行うことを推奨します。

※H10年9月1日以降の製作車でレンズの仕様によりロービームの測定が行えない場合があります。その場合はハイビームでの測定および調整を行ってください。

故障かな？と思ったら

不具合が起こった場合は弊サイトのトラブルシューティングをご確認頂ければ製品保証を受ける際にスムーズに行えます。

以下のURLまたは右記のQRコードからアクセスできます。
<http://www.sphere-light.com/troubleshoot.html>



SPHERE LIGHT

スフィアライトサポート

0570-666-117 (受付時間はホームページにてご確認ください)
販売元 株式会社SPREAD <https://www.sphere-light.com>

取付上のご注意

本製品の取付けにあたり、誤った取付方法により、漏電や感電および製品の故障や車輛火災の原因とならないよう、下記の点に注意して取付けを行ってください。

- 本製品の分解改造は絶対に行わないでください。
- 本製品は精密な電子機器です。落下させたり、配線を引っ張ったり無理な力を加えないでください。
- 端子に無理な力を加えると、端子折れや接触不良により加熱し、コネクター溶解などの破損の原因となります。
- 本製品を点灯させる際、紙や布で覆ったり、ガソリン、可燃性スプレー、シンナーなどの引火の危険性のある物の近くでは点灯させないでください。
- 本製品が破損した場合は、直ちに取付け作業を中止してください。
- 本製品の発光部(LEDチップや電子基板)に手を触れたり水気や油脂などの汚れを付着させた場合は、柔らかいきれいな布でしっかりと拭きとってください。汚れを付着させたまま点灯させると点灯不良の原因となります。
- 交換作業は十分なスペースと安全を確保して行ってください。また、エンジンを停止させてキーを抜いてください。
- 交換したハロゲンバルブは大切に保管してください。

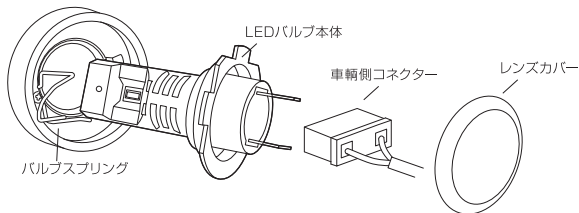
取付方法

本製品を取付けの際、車種によってはランプユニットや内装等を取外すと作業しやすくなる場合がありますので、必要に応じて部品の取外し作業を行ってください。

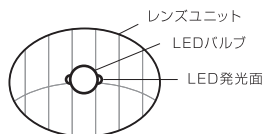
1 車両の取扱説明書を参考にして本製品を取付ける箇所のバルブを取外してください。

2 LEDバルブ本体を車体側へハロゲンバルブ同様にバルブスプリングを使い固定し、逆の手順でレンズカバーを元通りに取付けしてください。

※当製品は極性が固定されています。設置後に点灯確認を行い点灯しない場合は電極を逆に挿し替えてください。
※特に輸入車の場合でバルブの固定用にアダプター等が使用されている場合、バルブの電極と合わない点灯できない場合があります。適合表をご確認ください。

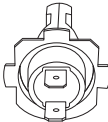


4 バルブの固定向きを確認します。



LEDの固定向きの調整方法

バルブの台座には3つの突起があります。バルブを固定した時にLEDチップが水平方向に向く位置で固定してください。



注意 バルブブランジの固定向きがレンズによって異なるため、レンズにバルブを固定する際は、LEDバルブ発光面が水平に並ぶように固定してください。上下に発光面を固定すると正しい配光が得られません。